

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 科学と人間生活 科目

対象学年組： 第 3 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 今武 顕

使用教科書： 発行者 東書 教科書記号・番号 科人306 教科書名 改訂 科学と人間生活

教科 「科学と人間生活」 の目標

【知識及び技能】	科学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、現象を法則したり科学的に理解したり、また科学的に表現、処理する方法を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】	科学的知識を活用して事象を科学的に考察する力、物象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的、発展的に考察する力、科学的に図、数式などを利用して表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	科学の良さを認識し積極的に科学を活用しようとする態度、それに粘り強く科学的な事実在即してものに対処して判断しようとする態度、問題解決の能力、また自身を評価改善しようとする創造性についても養う。

科目 「 」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
力学、熱、波及び電気などについての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに現象を数式化したり、物理学的に解釈したり、物理的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	物理法則を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや、変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。	自然科学のよさを認識し科学を活用しようとする態度、粘り強く考え科学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生物多様性の基礎概念を表すことができるようになる。ホメオスタシスあり方や、その特性、を理解し、さまざまなそれらについてのの認識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通	・指導事項 人の生命現象 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 ホメオスタシスの仕組みを理解して、その全体を認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身体各部の名称そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生命現象の基本性質を理解しようとしている。	○	○	○	5
	2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生物多様性の基礎概念を表すことができるようになる。眼球の構造や、その特性、消化のはたらきを理解し、さまざまなそれらについてのの認識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 自然の認識を学ぶ過程において、その法則を知り活用しようとする。自然認識を得る過程やその方法を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。	・指導事項 人の眼 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 人の目の構造を認識し、そのはたらきにつて認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 眼球の各部名称そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人の目の基本性質を理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1

2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生物多様性の基礎概念を表すことができるようになる。微生物のはたらきや、その特性、利用の仕方を理解し、さまざまなそれらについての知識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念と	・指導事項 微生物 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 さまざまな種の微生物を認識し、そのからだの構造そしてちがいにって認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物の名称そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物の基本性質を理解しようとしている。	○	○	○	6
2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生命多様性の基礎概念を表すことができるようになる。免疫のはたらきや、その特性、を理解し、さまざまなそれらについての知識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通	・指導事項 免疫と遺伝 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 免疫と遺伝の仕組みを認識し、それらの在り方システムについてて認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫の機構そのはたらきを理解し考察することができる。遺伝の機構そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫・遺伝の基本性質を理解しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	<p>2章 物質の科学</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>図表の見方を理解し、用語を用いて有機無機の基礎概念を表すことができるようになる。金属や、その特性、利用法を理解し、さまざまなそれらについての認識を身に付けられるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>図表を見その意味するところを考察しようとする。</p> <p>概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自然の認識を学ぶ過程において、その法則を知り活用しようとする。自然認識を得る過程やその方法を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>金属元素</p> <p>・教材</p> <p>配布資料</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>金属のありよう、精錬法を理解して、その性質を認識することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>金属元素の名称その在り様を理解し考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>金属の基本性質を理解しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>2章 物質の科学</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>図表の見方を理解し、用語を用いて有機無機の基礎概念を表すことができるようになる。プラスチックの、特性、利用法を理解し、さまざまなそれらについての認識を身に付けられるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>図表を見その意味するところを考察しようとする。</p> <p>概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>プラスチック生命現象</p> <p>・教材</p> <p>配布資料</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>プラスチックのありよう、その性質を理解して、その利用法、認識することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>プラスチックの名称その基本的性質を理解し考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>プラスチックの基本性質を理解しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	<p>2章 物質の科学</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>図表の見方を理解し、用語を用いて有機無機の基礎概念を表すことができるようになる。有機物の種類や、その特性、利用法を理解し、さまざまなそれらについての認識を身に付けられるようになる。遺伝の仕組みたんぱく質等の基本性質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>図表を見その意味するところを考察しようとする。</p> <p>概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自然の認識を学ぶ過程において、その法則を知り活用しようとする。自然認識を得る過程やその方法を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>食品、有機物</p> <p>・教材</p> <p>配布資料</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>食品のありよう、その成分を理解して、それらの栄養素を認識することができる。遺伝のありよう、遺伝の機構を理解して、それらの在り様を認識することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>さまざまな有機物の名称その消化の在り様を理解し考察することができる。遺伝の仕組み、たんぱく質等を理解し考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>さまざまな有機物の基本性質を理解しようとしている。遺伝の仕組みたんぱく質等の基本性質を理解しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>2章 物質の科学</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>図表の見方を理解し、用語を用いて有機無機の基礎概念を表すことができるようになる。さまざまな電磁波や、その特性、利用法を理解し、それらについての認識を身に付けられるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>図表を見その意味するところを考察しようとする。</p> <p>概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自然の認識を学ぶ過程において、その法則を知り活用しようとする。自然認識を得る過程やその方法を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>光と熱</p> <p>・教材</p> <p>配布資料</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>光や熱、その本質を理解して、それらの性質を認識することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>さまざまな電磁波の名称その在り様を理解し考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>光、熱の基本性質を理解しようとしている。</p>	○	○	○	6

	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	2章 宇宙、地球の科学 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて地学の基礎概念を表すことができるようになる。太陽や月、それらの性質を理解し、それらについての認識を身に付けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 自然の認識を学ぶ過程において、その法則を知り活用しようとする。自然認識を得る過程やその方法を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。	・指導事項 暦、太陽、大気 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 太陽と月、太陽光それによる大気の循環を理解して、それらの相互の作用を認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽光と大気の在り様を理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球環境の基本性質を理解しようとしている。	○	○	○	6
	2章 物質の科学 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて有機無機の基礎概念を表すことができるようになる。大地の変動や、その成り立ちを理解し、それらについての認識を身に付けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 自然の認識を学ぶ過程において、その法則を知り活用しようとする。自然認識を得る過程やその方法を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。	・指導事項 大地の変動 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 自然景観の成り立ちを理解して、山地や低地のできかたを認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地震、火山の在り様を理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 大地の成り立ちを理解しようとしている。	○	○	○	6
	2章 物質の科学 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて有機無機の基礎概念を表すことができるようになる。さまざまな災害や、その在り方を理解し、それらについての対処法認識を身に付けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念との関連、それらの関係について見通しを見出そうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 自然の認識を学ぶ過程において、その法則を知り活用しようとする。自然認識を得る過程やその方法を理解し、なぜ必要なのかを理解しようとしている。	・指導事項 自然災害 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 水害や土砂災害を理解して、その対処のしかたを認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 洪水他の自然災害在り様を理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 災害への対処法を理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
備 考							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 国語 科目 国語表現

対象学年組： 第 3 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 林 靖享

使用教科書： 発行者 東書 教科書記号・番号 国表702 教科書名 国語表現

教科 「国語」 の目標

【知識及び技能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 「国語表現」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 表現とは何か 【知識及び技能】 冒頭の文章や「表現の窓」の文章を読んで、「表現とは何か」について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまなゲームに取り組み、表現を学ぶ際に重要なことを体験的に知る。 【学びに向かう力、人間性等】	<第1時> 1 単元全体の目標の確認をする。 2 冒頭の文章（教科書P. 4～5）を読み、表現について考える。 3 「傾聴・共感ゲーム」のやり方を確認する。 4 「傾聴・共感ゲーム」に取り組む。 5 「ジェスチャーゲーム」のやり方を確認する。 6 「ジェスチャーゲーム」に取り組む。 7 「円周率でラップ」のやり方を確認する。 8 「円周率でラップ」に取り組む。 9 「折り紙説明ゲーム」のやり方を確認する。 10 「折り紙説明ゲーム」に取り組む。 <第2時> 表現の窓 1 平田オリザの文章を読んで、内容を理解し、手引きに取り組む。 2 角田光代の文章を読んで、内容を理解し、手引きに取り組む。 3 古荘真敬の文章を読んで、内容を理解し、手引きに取り組む。 4 単元全体のリフレクションをする。	知技 (1)ウ、エ 【思判表】話すこと・聞くこと(1)ウ、エ、カ／書くこと(1)ウ、カ	【知技】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【主】導入のミニゲームを通じて、傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し、学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。	○	○	○	2

1 学期	B 単元 わかりやすく説明しよう 【知識及び技能】 ・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、わかりやすく伝える方法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習を通じて得られた「わかりやすく説明する方法」を、日常生活においても状況に応じて使えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	<第1時> 1 単元冒頭の「わかりやすい説明」のポイント(教科書P. 16)を読み、「わかりやすい説明」に必要なものを理解する。 2 見返しの「東京防災」、あるいは、持ち寄ったチラシ、実際のニュースでアナウンサーが読んだ内容を書き写したものを読み、「わかりやすい」部分や「分かりにくい」部分を確認する。 3 2で「わかりやすい」「分かりにくい」と感じた点について、理由を分析する。 <第2時> ポイント①相手・内容・目	【知識・技能】 [知技] (1)イ, ウ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア, ウ, エ／書くこと(1)カ [知技] (1)ア, エ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)イ／書くこと(1)イ, エ [知技] (1)イ, ウ [思判表] 書くこと(1)オ, カ	[知技] ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
	C 単元 身体で表現しよう 【知識及び技能】 ・自分の身体が表現しているものについて考えを深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・演劇的な活動に取り組み、自分の身体を効果的に使って表現するスキルを身につける。 【学びに向かう力、人間性等】	<第1時> 1 単元全体の目標の確認をする。 2 自分の身体表現について振り返る。 3 授業を振り返る <第2～3時> ステップ①他人を演じる 1 「他人を演じる」の手順を確認する。 2 「他人を演じる」のグループワークを行う。 3 「他人を演じる」の振り返りを行う。 <第4時> 1 教科書P. 38～39の「エクササイズ」の手順を確認する。 2 「発声と口調」のエクササイズに取り組む。 3 「身振り・表情」のエクササイズに取り組む。 4 二つのエクササイズを振り返る。 <第5～6時> ステップ②インプロに取り組む 1 教科書P. 40を読んで「インプロ」について理解する。 2 「二人でのインプロ」の手順を確認する。 3 「二人でのインプロ」に取り組む。 <第7～8時> 1 「二人でのインプロ」	知技] (1)ア, ウ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)エ, カ	[知技] ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 [主] 即興で演じる活動を通じて、身体が表現することを積極的に意識し、スピーチや発表などの際に効果的に伝えられるよう、今までの学習を生かして表現の仕方を改善しようとしている。	○	○	○	6
	D 単元 問いを考えよう 【知識及び技能】 ・問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きく関わることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インタビューを実践することで、問い・質問のもつ力や意義、その重要性を体験的に学習するとともに、インタビューを文章で再現することで、構成力や表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】	<第1時> 1 「問い・質問」のイメージや経験を交流する。 2 単元冒頭のリード文(教科書P. 46)を読み、言語生活における「問い」の位置づけを確認し、インタビューのポイントを共有する。 3 「ウォーミングアップ」(教科書P. 47)のペア・インタビューを行う。 4 3のアクティビティの体験交流を踏まえて、次回からの学習(インタビュー活動)の予告を行い、学習のねらいを共有する。 <第2時> ■インタビューを企画・実施	[知技] (1)ア, イ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア, エ, カ／書くこと(2)ウ, オ ○活話すこと・聞くこと(2)ウ ○活書くこと(2)カ [知技] (1)イ, エ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ウ, エ, カ／書くこと(1)ア, ウ, オ ○活話すこと・聞くこと(2)イ ○活書くこと(2)エ [知技] (1)イ, エ	[知技] ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	E 単元 自分を表現しよう面接自己PR 【知識及び技能】 ・自己分析を行い、第三者の意見も踏まえて、客観的に「自分」を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・志望理由書・履歴書の作成、模擬面接などで、相手に伝わるように「自分」を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	<第1時> 1 単元冒頭のリード文（教科書P. 66）を読み、面接・自己PRのポイントを確認する。 2 ジョハリの窓について説明を聞く。 3 ワークシートを使用して、グループでジョハリの窓に取り組む。 4 自分が認識している自分と、他人から見た自分とはズレがあることを確認する。	【知技】(1)イ、ウ、エ 【思判表】話すこと・聞くこと(1)ア、イ、ウ、エ、オ／書くこと(1)ア、イ、ウ、エ、カ ○活話すこと・聞くこと(2)ア	【知技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中か	○	○	○	16
	定期考査				○	○		1
	F 単元 話し合う力をつけようファシリテーション 【知識及び技能】 ・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。 ・災害避難所でのコミュニケーションにおける意見対立を描いた脚本をもとに、協働的問題解決を目指す話し合いをシミュレーションする。 展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・災害避難所でのコミュニケーションにおける意見対立を描いた脚本をもとに、協働的問題解決を目指す話し合いをシミュレーションする。 【学びに向かう力、人間性等】	<第1時> 1 話し合いの経験を振り返り、グループもしくはクラスで共有する。 2 フロントページ（右ページ）を読み、話し合う意義と目的、ファシリテーションの概念を確認する。 3 1で振り返った話し合いについて、「ウォーミングアップ」の図の○A・○Bに当てはまるものがあつたか、また、なぜそのような話し合いになったかを発表し合う。 4 話し合いの意義、目的、機能を押さえ（カードやノートに書き出し）、次回からの学習展開を共有する。 <第2時> 話し合いの基本的な展開 1 教科書に示された「1共有→2拡散→3収束・合意形成→4確認」を読んで基本の流れを押さえる。 2 各教科や部活動、あるいは地域の自治会などで実際に進行中もしくはこれから予定されている話し合いや会議（「文化祭のクラス展示について」「地域防災活動の活性化について」「お盆休みの家族旅行について」など）を例に、「1収束」から「4確認」までのプロセスをシミュレーションする。 2 シミュレーション終了後	【知技】(1)ア、イ 【思判表】話すこと・聞くこと(1)イ、エ、オ、キ ○活話すこと・聞くこと(2)エ	【知技】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【主】ファシリテーションの意義や技法を粘り強く理解し、学習の見通しをもって話し合いの中で積極的に実践しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	G 単元 説得力のある提案をしよう 【知識及び技能】 ・提案内容を受け入れてもらうために、効果的で印象的なプレゼンテーションの仕方や、相手の心を動かすのに必要な身体表現（発声・身振り）や態度などについて学び、説得力のある表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィードバックで他者の意見を取り入れることで、相手の心を動かすすよい表現を目指す。 【学びに向かう力、人間性等】	<第1時> 1 単元冒頭の「ポイントプレゼンテーション」（教科書P. 154）を読み、プレゼンテーションにとって重要なことを理解する。 2 グループに分かれ、これまで見たり行ったりしたプレゼンテーションについて説明し合い、内容や状況、かかった時間、使った機器や道具、工夫されていたことを挙げる。 3 2で挙げられた内容について、分かりやすかったり、印象的だったりした点を取り上げ、理由を考える。 <第2時> ステップ①提案内容を考える 1 グループに分かれ、教科書P. 156の「提案とその提案先の例」を参考に、提案したい内容を挙げる。 2 1で挙げた提案したい内容に対して、教科書P. 156の「問いの例」を参考に、内容を深め、より提案するにふさわしい内容を考える。 3 2で検討した内容をまとめて、グループで提案することを明確にする。 <第3～4時> 1 教科書P. 157の「説得力のある提案」を見て、提案を支える根拠に「自分の事	【知技】(1)ア、イ 【思判表】話すこと・聞くこと(1)ア、イ、エ、オ、キ／書くこと(1)イ、エ ○活話すこと・聞くこと(2)オ 【知技】(1)イ、エ 【思判表】書くこと(1)ア、イ、エ ○活書くこと(2)オ	【知技】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報を知り合ふ機会を工夫して支	○	○	○	10

3 学 期	<p>Ⅱ 単元 表現を楽しもう創作</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句、短歌、エッセー、物語など、いろいろなジャンルの作品創作を通じて、言葉を用いて表現することを楽しむ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手に伝わるよう、表現を効果的に工夫し、自分ならではの作品を創作する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>＜第1時＞</p> <p>1 本単元ではさまざまなジャンルの作品を創作し、創作活動を楽しむことを確認する。</p> <p>2 「ウォーミングアップ」</p> <p>①②を通して、表現のジャンルや、それぞれの特徴について確認する。</p> <p>3 「ウォーミングアップ」</p> <p>③の活動として、グループに分かれて、心に残っている文学作品について共有する。</p> <p>＜第2～3時＞</p> <p>俳句を詠む</p> <p>1 俳句とはどういうものか、教科書P. 170～171を読んで確認する。</p> <p>2 俳句の音の数え方を確認する。</p> <p>3 十二音の俳句のタネと五音の季語とを取り合わせる手法で、俳句を二～三句作り、提出する。</p> <p>4 クラスで句会を行う。（教科書P. 172の「句会・歌会の方法」を参照）</p> <p>＜第4～5時＞</p> <p>短歌を詠む／なりきり短歌物語を作る</p> <p>1 短歌とはどういうものか、教科書P. 172を読んで確認する。</p> <p>2 短歌を二～三首作り、提出する。</p> <p>3 提出された短歌から好きな</p>	<p>【知技】(1)ウ、オ／(2)ア</p> <p>【思判表】書くこと(1)ア、ウ、オ、力</p> <p>【知技】(1)ウ、オ</p> <p>【思判表】話すこと・聞くこと(1)エ／書くこと(1)オ</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・省略や反復などの表現の技法について理解を深め使っている。 ・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかななどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 <p>【主】文学作品の創作に意欲的に取り組み、読み手を意識しながら粘り強く表現の仕方を工夫して、今までの学習を生かして自分が思い描いたことを的確な言葉で表現しようとしている。</p>	○	○	○	9
	定期考査				○	○		1
備考								合計 70

高等学校 令和6年度（1、2、3学年用） 教科 数学 科目 数学A

対象学年組： 第 3 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 高木 俊哉
使用教科書： 発行者 第一 教科書記号・番号 #REF! 教科書名 新編数学A新編数学Aサポートブック
教科 「数学」 の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 「数学A」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質について論理的に考察し表現する力、場合の数に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象に対し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 集合の要素の個数を求めることができる。 和の法則と積の法則を利用して場合の数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 共通部分や和集合・補集合について理解し、集合を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 集合を記号を用いて表現しようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 集合の要素の個数を求めることができる。 和の法則と積の法則を利用して場合の数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 共通部分や和集合・補集合について理解し、集合を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 集合を記号を用いて表現しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 順列・組合せの計算をすることができる。 重複順列を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列・組合せについて理解し、場合の数の総数を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 順列・組合せの総数を求めようとしている。	・指導事項 順列と組合せ ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 順列・組合せの計算をすることができる。 重複順列を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列・組合せについて理解し、場合の数の総数を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 順列・組合せの総数を求めようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 順列や組合せを活用して、確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列や組合せの考え方を工夫して、反復試行・余事象。独立な事象・和事象などを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の基本性質を理解しようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 順列や組合せを活用して、確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列や組合せの考え方を工夫して、反復試行・余事象。独立な事象・和事象などを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の基本性質を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第3章 図形の性質 【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第3章 図形の性質 【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
備 考							合計
							66

[illegible]

1 学期	Lesson3 今、何してる？ Action! Part 1 友だちの好きなものを聞いてみよう 【知識及び技能】 行形を使った文を理解している。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 進行形 今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 進行形を使った文を理解することができる。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようすることができる。	○	○	○	7
	Lesson4 花粉症ってつらい？ Scene 1 ファストフード店に行こう 【知識及び技能】 未来を表す表現を使った文を理解し,それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけている。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 未来を表す表現 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて発表する。 ファストフード店での多様な状況を想定して会話をする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 未来を表す表現を使った文を理解し,それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけている。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査										1	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
			聞	読	話 [や]						話 [発]	書
	Lesson3 今、何してる？ 【知識及び技能】 進行形を使った文を理解している。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	・指導事項 進行形 今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 進行形を使った文を理解することができる。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。	○	○	○	7

2 学 期	<p>Lesson4 花粉症ってつらい？ Scene 1 ファストフード店に行こう</p> <p>【知識及び技能】 未来を表す表現を使った文を理解し、それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけている。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手に積極的に伝えようとしている。</p>	<p>・指導事項 未来を表す表現 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて発表する。 ファストフード店での多様な状況を想定して会話をする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 未来を表す表現を使った文を理解し、それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけることができる。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとするができる。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとすることができる。これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手に積極的に伝えようとするができる。</p>	○	○	○	7
	定期考査								○	○	○	1
	<p>Lesson5 手伝ってくれる？ Lesson6 浅草寺に行こう Action! 富士山に登ろう Part 2 【知識及び技能】 助動詞（can, may）を使った文を理解している。</p> <p>助動詞（can, may）を使った文の理解を基に、将来の自分に手紙を書く技能を身につけている。助動詞（must, should）を使った文を理解している。</p> <p>助動詞（must, should）を使った文の理解を基に、守らなければならないルールについて発表する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えている。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手に積極的に伝えようとしている。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>	<p>・指導事項 助動詞（can, may） 助動詞（must, should） 将来の自分に手紙を書く。 山登りの際の注意点について発表する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 助動詞（can, may）を使った文を理解することができる。 助動詞（can, may）を使った文の理解を基に、将来の自分に手紙を書く技能を身につけることができる。助動詞（must, should）を使った文を理解することができる。 助動詞（must, should）を使った文の理解を基に、守らなければならないルールについて発表する技能を身につけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えることができる。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手に積極的に伝えることができる。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとすることができる。</p>	○	○	○	6

[illegible]

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科保健体育

科目体育

対象学年組： 第 3 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 鈴木 悠太

使用教科書： 発行者 大修館 教科書記号・番号 保体701 教科書名 現代高等保健体育

教科「保健体育」の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を活用できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を探究し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に教える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目「体育」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、技能を活用する。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見・探究し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の個性を大切にする意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
	A 体づくり運動 【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指すことができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・ リズムに乗って心が弾むような運動 ・ 緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・ いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 ・ 教材：教科書、学習カード ・ 一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポータルフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・ 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ 運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・ ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・ 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 健康・安全を確保している。	○	○	○	10

1 学 期	<p>C 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>(ア)短距離走・リレー (ウ)ハードル走</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【技能】</p> <p>・スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。</p> <p>・スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
	<p>E 球技 ウ ベースボール型</p> <p>「ソフトボール」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する)ことができるようにする。</p> <p>ウ ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする(こと)、(作戦などについての話し合いに貢献しようとする(こと)、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする(こと、(互いに助け合い教え合おうとする(こと)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>ウ ソフトボール</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【技能】</p> <p>・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。</p> <p>・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。</p> <p>・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・ソフトボールの学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p> <p>健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
	<p>H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解することができる。</p> <p>・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ア)スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ)現代のスポーツの意義や価値</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常的遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて、言ったり書き出したりしている。また、近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、言ったり書き出したりしている。現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、言ったり書き出したりしている。オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無等を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	<p>Ｅ 球技 イ ネット型 「バドミントン」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する)ことができるようにする。</p> <p>イネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする)、(作戦などについての話し合いに貢献しようとする)、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)、(互いに助け合い教え合おうとすること)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>イ バドミントン</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【技能】</p> <p>・サービスでは、シャトルをねらった場所に打つことができる。</p> <p>・シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。</p> <p>・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・バドミントンについて、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・バドミントンの学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	16
	<p>Ｅ 球技 ア ゴール型 「サッカー」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>アゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・サッカーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)、(互いに助け合い教え合おうとすること)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>ア サッカー</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】</p> <p>・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【技能】</p> <p>・味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> <p>・ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。</p> <p>・パスを出した後次回のパスを受ける動きをすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・サッカーの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・サッカーの学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10

<p>H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <ul style="list-style-type: none">・教材：教科書、学習カード・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・現代のスポーツの経済的效果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的效果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツの経済的效果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
---	---	---	---	---	---	---

3 学 期	<p>A 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。</p> <p>イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>(ア)体ほぐしの運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・リズムに乗って心が弾むような運動 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康・安全を確保している。 	○	○	○	4
	<p>E 球技 ア ゴール型「バスケットボール」</p> <p>【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>アゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、(互いに助け合い教え合おうとし)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>ア バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。 	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。 	○	○	○	10

	<p>H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ</p> <p>(エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2	
備考	合計							76

高等学校 令和6年度（1、2、3学年用） 教科 機械 科目 機械製図

対象学年組： 第 3 学年 M 組 単位数： 3 単位 教科担当者： 潮田 正彦 阿部 憲一

使用教科書： 発行者 実教 教科書記号・番号 工業702 教科書名 機械製図

教科 「機械」 の目標

【知識及び技術】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「機械製図」 の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	製作図 【知識及び技術】 製作図の課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 製図の役割 （1）製図と規格 （2）図面の表し方 2. 機械に関する製図・設計製図	【知識・技術】 製作図の基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	40
2 学 期	CAD製図 【知識及び技術】 二次元CADの課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 情報機器を活用した設計製図 （1）CAD の機能 （2）二次元CAD	【知識・技術】 二次元CADの基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	40
3 学 期	CAD製図 【知識及び技術】 三次元CADの課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 情報機器を活用した設計製図 （1）CAD の機能 （2）三次元CAD	【知識・技術】 三次元CADの基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	25
計							合計

高等学校 令和6年度（1、2、3学年用） 教科 機械 科目 機械実習

対象学年組： 第 3 学年 M 組 単位数： 4 単位 教科担当者： 潮田 正彦 阿部 憲一 渡邊 剛

使用教科書： 発行者 教科書記号・番号 教科書名

教科「機械」の目標	
【知識及び技術】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目「機械実習」の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野の学習活動で身に付けた技術に関わる知識を実際の作業に即して総合的に関連付けて理解するとともに、実際のものづくりの現場で活用することができる技術を身に付けるようにする。	機械分野の技術に関する課題を見だし、単に生産性や効率だけを優先するのではなく、工業製品が社会に与える影響に責任をもち、工業に携わる者として倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野に関する技術の向上を目指し、実際の作業を通して自ら学ぶ態度や、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見だすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 総合機械 機械分野の要素技術を総合化した内容を扱う。 2. NC機械 内燃機関分野に関連する要素的な内容を扱う。 3. 内燃機関 内燃機関分野に関連する要素的な内容を扱う。	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見だすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55
2 学 期	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 鋳造に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋳造分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見だすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 鋳造分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 鋳造 鋳造分野の要素技術を総合化した内容を扱う。	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 鋳造分野に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 鋳造分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見だすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 鋳造分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55

3 学 期	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 木工に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木工分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 木工分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 木工 木工分野の要素技術を総合化した内容を扱う。	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 木工分野に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 木工分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 木工分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	30
	備考	合計 140					

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 M 組

教科担当者：（ M組：田中 ）

使用教科書：（ 711『新歴史総合』（第一学習社） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】総合的に歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象から、よりよい社会の実現を自らの課題として主体的に取り組む態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する。	現代世界の生成に関わる歴史諸事象について、多面的・多角的に考察する。	我が国の歴史に対する理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて考察を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時
1学期	単元 歴史と私たち 【知識及び技能】 歴史事象の背景にあるもの理解し、人類史の特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、歴史を読み解く問いを表現している。	・問い 私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。	○	○		2
	単元 近代世界の出現 【知識及び技能】 18世紀までのアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国の進出について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。	・問い 18世紀までに日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。 ・指導事項 ①ヨーロッパ、アジアの歴史的特質 ②アジア、アフリカ、新大陸へのヨーロッパ諸国の進出 ③アジア・アメリカに向かうヨーロッパ 史資料の読解等	【知識・技能】 アジア各地域間の貿易やアジア諸国と欧米諸国の進出と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 工業化の進展と国民国家の建設 【知識及び技能】 産業革命の進行と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な革命が現代社会に与えた課題を考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。 ・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯について考察し、その特徴を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家の形成や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していたのだろうか。 ・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対応をとったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出に伴うアジア社会の変容が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。 ・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船と日本の対応 ⑤新体制と江戸幕府の滅亡 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	5

定期考查				○	○	1
------	--	--	--	---	---	---

2 学期	単元 帝国主義とアジア諸国の変容 【知識及び技能】 日本が、明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の前後で国の仕組みと身分制がどのように変化したかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。 ・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 第一次世界大戦が総力戦化した構造を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦に伴う様々な変化が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。 ・指導事項 ①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 大戦後のヨーロッパで、平和を模索する国際秩序が構築されたことと大衆による政治参加が進んだことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。 ・指導事項 ①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東。インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・地図や史資料の読解等	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ヨーロッパでの戦いから、アジア・太平洋にも及ぶ戦争に発展する経緯に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ第二次世界大戦では多くの犠牲者が出るようになったのかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。 ・指導事項 ①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治に断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 【知識及び技能】 日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和協力について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 2度の世界大戦が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのだろうか。 ・指導事項 ①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復 ・地図や史資料の読解等	【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元 冷戦で揺れる世界と日本 【知識及び技能】 高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が高度経済成長を達成することができた要因を国内外の情勢と関連させて考察し、表現している。	・問い 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのだろうか。 ・指導事項 ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化	【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。				

	【学びに向かう力、人間性等】 冷戦期における各国の動向を踏まえ、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	④中東戦争とパレスチナ問題 ・地図や史資料の読解等	【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査				○	○		1
							合計
							70